

日野・生活者ネットワーク

# 白井なおこ

しらい・なおこ

## 私の決意

私の活動の原点は、子育てと仕事の両立に苦しんだ自身の経験です。「パーソナル・イズ・ポリティカル」（個人的なことは政治的なこと）という言葉がありますが、一見個人的に見える問題は、実は社会的課題に通じていて、それを解決していくのが政治だと気づきました。

一方で、世の中で起きている社会的な課題に対して当事者意識を持つことの大切さも、原発事故以来、痛感しています。そのような視点で自分にできる活動を模索する中、「市民自治」をモットーに、独自のシステムで政治に参加する「生活者ネットワーク」に出会い、その活動に共感しました。私は、市民が当事者として、共に創り上げる市政をめざします。



## 白井なおこ

プロフィール

- 1971年10月 埼玉県に生まれる
- 72年 日野市に転入
- 78年 光塩幼稚園卒園（日野市）
- 84年 日野市立南平小学校卒業
- 87年 日本女子大学付属中学校卒業
- 90年 日本女子大学付属高等学校卒業
- 94年 日本女子大学人間社会学部現代社会学科卒業 卒業後、東京・福岡・京都で舞台芸術、文化事業、スポーツイベントなどの仕事に携わる
- 2012年 滋賀県大津市に転居 大津市男女共同参画審議会公募委員 滋賀県嘉田知事（当時）主宰の未来政治塾に第1期生として学ぶ
- 13年 日野市に転入 生活クラブ生協に加入。まち日野三沢コミュニティを立ち上げ、活動する
- 14年 東京都児童福祉審議会公募委員
- 高校1年生の時、日野市青年海外交流事業に参加（イギリス）
- 13年～同世代の母親たちとともに原発や憲法などの学習会、映画会を開催する
- 現在、日野・生活者ネットワーク政策委員 ● 日野市三沢在住
- 家族：夫 息子（小学生）（旧姓 加藤）

●日野・生活者ネットワークの活動を紹介します

**INFORMATION** 2月18日は日野市議会議員選挙の投票日です。期日前投票：2月12日(月)～17日(土)

応援します **白井なおこ**さんを



## 大河原まさこ

●衆議院議員 / 元東京・生活者ネットワーク都議会議員

生活者ネットワークの真髄は、ボトムアップの草の根政治です。地域の課題を、市民の調査活動をもとに政策化し、いっしょに解決します。その「市民政治」に信頼も得ています。白井なおこさんは、日野のまちづくりには是非とも必要な人！ 私も力いっぱい応援します。



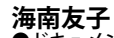
## 嘉田由紀子

●前滋賀県知事 / 未来政治塾塾長



## 堀 利和

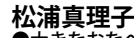
●視覚障害者元参議院議員



海南友子 ●ドキュメンタリー映画監督



谷 章子 ●つながるシネマの会



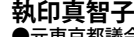
松浦真理子 ●大きなおなべの会



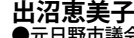
柳沢典子 ●生活クラブまち日野・三沢コミュニティ



山内れい子 ●東京都議会議員



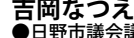
執印真智子 ●元東京都議会議員



出沼恵美子 ●元日野市議会議員



古池初美 ●前日野市議会議員



吉岡なつえ ●日野市議会議員

## ●白井なおこの活動報告



南平駅前前で政策をアピールする白井なおこ

# 白井なおこ



市民が育てる 日野・未来

日野・生活者ネットワーク 政策委員

市民が育てる

日野・未来

- 生活者ネット3つのルール
- 1 議員は交代制 (ローテーション)
  - 2 議員報酬は 市民の政治活動資金に
  - 3 選挙はカンパと ボランティアで

笑顔で 子育て・介護ができるまちに！ 政治は未来をつくるもの 市民と議会、行政をつなぎ、7つの政策を実現します

生活者ネットワークの議員は最長3期で交代し、議員を職業化・特権化しません。



日野・生活者ネットワーク

<http://shirai.seikatsusha.me>

Facebook icon 白井なおこ

# 白井なおこの2018年市議選政策の7つの提案

## ■すべてのひとの人権が保障されるまち

- 子どもが相談できる救済機関「子どもオンブズパーソン制度」をつくります
- 政策を決める場に、もっと女性を増やします
- 就労が困難なひとが働けるよう、中間支援の仕組みをつくります
- 自分も他人も大切にできるよう、幼少期から年齢に応じた命と性の教育をすすめます

## ■笑顔で子育て・介護ができるまち



- 希望するすべての保護者が、子どもを安心して預けられる多様な保育を展開します
- 在宅医療、在宅介護を支えるための体制を強化します
- 育児や介護中のひとと、仕事をあきらめずに済むよう環境を整えます
- いつでも何でも相談できる総合相談窓口を設置します

## ■子どもがいきいき育つまち

- 学童保育や児童館などの拡充とともに、子どもの多様な居場所を充実させます
- 学習支援やみんな食堂で、勉強がわかる喜びと食の楽しさを！
- 給食、制服、修学旅行などの教育費も無償化をすすめます
- クラスの少人数化をすすめ、互いの個性を発揮しながら学び合う環境をつくります

## ■支え合う減災のまち

- 住民同士が交流できる防災教育・防災訓練を広げます
- 誰もが安全に避難し過ごせるよう、災害時にも人権を守ります

## ■次世代のための持続可能なまち

- 公共施設に再生可能エネルギーを積極的に導入し、自治体発電事業で脱原発に取り組みます
- 市民と共に、農地・緑地・清流を守り、残す取り組みをさらにすすめます
- 市民・事業者と共に、ゴミを出さない多様な仕組みをつくります



ペラнда発電組立てセミナーに参加。一軒家でなくても発電可能

## ■市民が自治するまち

- 市民のアイデアや意見を、職員とともに形にする仕組みをつくります
- 市民と政治、社会との関わりを深めるシティズンシップ教育を推進します
- 在住外国人の意見を市政に反映する仕組みをつくります
- パブリックコメント条例を制定し、市民の声を市政に活かします
- 委員会もネット中継するなど、さらに身近な議会にします



日野のまちに何かが必要か話し合うワークショップに参加

## ■気軽に出かけておしゃべりできるまち

- 空き家を活用した多世代が集える居場所をつくり、市民の知恵を活かした活動を支援します
- 地域公共交通網の充実で、交通空白地域を解消します
- ウォーキングや体操を気軽にできる健康施策を充実させます

## 市民と共に活動し、政策実現する生活者ネット！

1989年生協活動を通して集まった仲間が、食の安全を求め、地域政党「日野・生活者ネットワーク」を設立しました。翌年議会に議員（市民の代理人）を送りだして29年。絶えず、市民の声を聞き、共に行政への聞き取り、調査を行い、政策を実現してきました。

特に、1996年に施行された「日野市環境基本条例」は15,000人を超える市民の直接請求によるものです。生活者ネットは日野市の環境を守りたいと思う市民と共に条例案作り、署名活動、議会での質疑に取り組み、条例制定へと動きました。

どの政策も市民からの生活課題である「ひとつ提案」からつくります。これからも市民目線、生活者の視点で活動していきます。



## 生活者ネットワークの提案で、実現！

- 日野市環境基本条例の制定
- 日野市子ども条例の制定
- 日野市洪水ハザードマップ
- 援農ボランティア養成講座「農の学校」の開設
- 街路樹キーパー制度
- ドッグランの設置
- 環境情報センターの開設
- 福祉オンブズパーソン制度の導入
- 学校における着衣泳の導入
- 区画整理事業内で農地を残すための「農のあるまちづくり」、など

市民が育てる  
日野・未来